

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【公表番号】特表2009-502331(P2009-502331A)  
 【公表日】平成21年1月29日(2009.1.29)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-004  
 【出願番号】特願2008-524000(P2008-524000)  
 【国際特許分類】

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 31/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月17日(2009.7.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

多孔性ウェブを形成するべく混ぜ合わされた溶融成形された連続フィラメントと、少なくとも 1 つの前記フィラメントに配置したヒドロゲル材料とを含む移植可能物品であって、前記フィラメントが多数の接触点で互いに自己密着し、前記フィラメントが、少なくとも 1 つの非晶質重合体構成成分に共有結合した又はこの構成成分と配合された少なくとも 1 つの半結晶性重合体構成成分を含んで成り、該フィラメントが、結晶状態にある時に部分的乃至は完全な重合体構成成分相非混和性を有する 物品であって、多孔率を事実上低減させ得る何らかの充填材又はその他の付加的な構成成分を含まない場合に 90 超の多孔性百分率を有する移植可能物品。

【請求項 2】

前記ヒドロゲルが架橋されている、請求項 1 に記載の移植可能物品。

【請求項 3】

前記ヒドロゲル材料が、前記フィラメント間に存在する少なくとも 1 つの空隙空間の少なくとも一部を充填する、請求項 1 に記載の移植可能物品。

【請求項 4】

前記ヒドロゲルが架橋されている、請求項 3 に記載の移植可能物品。

【請求項 5】

多孔率を事実上低減させ得る何らかの充填材又はその他の付加的な構成成分が不在である場合に 91 超の多孔性百分率を有する、請求項 1 に記載の移植可能物品。

【請求項 6】

前記ヒドロゲル材料がポリビニルアルコールを含んで成る、請求項 1 に記載の移植可能物品。

【請求項 7】

前記ヒドロゲル材料がカルボキシメチルセルロースを含んで成る、請求項 1 に記載の移植可能物品。

【請求項 8】

前記ヒドロゲル材料がポリエチレングリコールおよびポリプロピレングリコールの共重合体を含んで成る、請求項 1 に記載の移植可能物品。

【請求項 9】

前記ヒドロゲル材料がポリビニルアルコールを含んで成る、請求項 2 に記載の移植可能物品。

【請求項 1 0】

前記ヒドロゲル材料がカルボキシメチルセルロースを含んで成る、請求項 2 に記載の移植可能物品。

【請求項 1 1】

前記ヒドロゲル材料がポリエチレングリコールおよびポリプロピレングリコールの共重合体を含んで成る、請求項 2 に記載の移植可能物品。

【請求項 1 2】

前記ヒドロゲル材料がポリビニルアルコールを含んで成る、請求項 3 に記載の移植可能物品。

【請求項 1 3】

前記ヒドロゲル材料がカルボキシメチルセルロースを含んで成る、請求項 3 に記載の移植可能物品。

【請求項 1 4】

前記ヒドロゲル材料がポリエチレングリコールおよびポリプロピレングリコールの共重合体を含んで成る、請求項 3 に記載の移植可能物品。

【請求項 1 5】

前記ヒドロゲル材料と組み合わせて生物活性種をさらに含んで成る、請求項 1 に記載の移植可能物品。

【請求項 1 6】

該生物活性種が抗炎症剤を含んで成る、請求項 1 5 に記載の移植可能物品。

【請求項 1 7】

該抗炎症剤がデキサメタゾンである、請求項 1 6 に記載の移植可能物品。

【請求項 1 8】

前記架橋したヒドロゲル材料と組み合わせて生物活性種をさらに含んで成る、請求項 2 に記載の移植可能物品。

【請求項 1 9】

該生物活性種が抗炎症剤を含んで成る、請求項 1 8 に記載の移植可能物品。

【請求項 2 0】

該抗炎症剤がデキサメタゾンである、請求項 1 9 に記載の移植可能物品。

【請求項 2 1】

前記ヒドロゲル材料と組み合わせて生物活性種をさらに含んで成る、請求項 3 に記載の移植可能物品。

【請求項 2 2】

該生物活性種が抗炎症剤を含んで成る、請求項 2 1 に記載の移植可能物品。

【請求項 2 3】

該抗炎症剤がデキサメタゾンである、請求項 2 2 に記載の移植可能物品。

【請求項 2 4】

前記ヒドロゲル材料がポリビニルアルコールを含んで成る、請求項 4 に記載の移植可能物品。

【請求項 2 5】

前記ヒドロゲル材料がカルボキシメチルセルロースを含んで成る、請求項 4 に記載の移植可能物品。

【請求項 2 6】

前記ヒドロゲル材料がポリエチレングリコールおよびポリプロピレングリコールの共重合体を含んで成る、請求項 4 に記載の移植可能物品。

【請求項 2 7】

前記架橋したヒドロゲル材料と組み合わせて生物活性種をさらに含んで成る、請求項 4 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 28】

該生物活性種が抗炎症剤を含んで成る、請求項 27 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 29】

該抗炎症剤がデキサメタゾンである、請求項 28 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 30】

多孔性ウェブを形成するべく混ぜ合わされた溶融成形された連続フィラメントと、少なくとも1つの前記フィラメントに配置したヒドロゲル材料とを含む移植可能物品であって、前記フィラメントが多数の接触点で互いに自己密着し、前記フィラメントが、少なくとも1つの付加的な半結晶性重合体構成成分に共有結合した又はこの構成成分と配合された第1の半結晶性重合体構成成分を含んで成り、該フィラメントが、結晶状態にある時に部分的乃至は完全な重合体構成成分相非混和性を有する物品であって、多孔率を事実上低減させ得る何らかの充填材又はその他の付加的な構成成分を含まない場合に90超の多孔性百分率を有する移植可能物品。

## 【請求項 31】

前記ヒドロゲルが架橋されている、請求項 30 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 32】

前記ヒドロゲル材料が、前記フィラメント間に存在する少なくとも1つの空隙空間の少なくとも一部を充填する、請求項 30 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 33】

前記ヒドロゲル材料が架橋されている、請求項 32 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 34】

多孔率を事実上低減させ得る何らかの充填材又はその他の付加的な構成成分が不在である場合に91超の多孔性百分率を有する、請求項 30 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 35】

前記ヒドロゲル材料がポリビニルアルコールを含んで成る、請求項 30 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 36】

前記ヒドロゲル材料がカルボキシメチルセルロースを含んで成る、請求項 30 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 37】

前記ヒドロゲル材料がポリエチレングリコールおよびポリプロピレングリコールの共重合体を含んで成る、請求項 30 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 38】

前記ヒドロゲル材料がポリビニルアルコールを含んで成る、請求項 31 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 39】

前記ヒドロゲル材料がカルボキシメチルセルロースを含んで成る、請求項 31 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 40】

前記ヒドロゲル材料がポリエチレングリコールおよびポリプロピレングリコールの共重合体を含んで成る、請求項 31 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 41】

前記ヒドロゲル材料がポリビニルアルコールを含んで成る、請求項 32 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 42】

前記ヒドロゲル材料がカルボキシメチルセルロースを含んで成る、請求項 32 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 43】

前記ヒドロゲル材料がポリエチレングリコールおよびポリプロピレングリコールの共重合体を含んで成る、請求項 32 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 4 4】

前記ヒドロゲル材料と組み合わせて生物活性種をさらに含んで成る、請求項 3 0 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 4 5】

該生物活性種が抗炎症剤を含んで成る、請求項 4 4 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 4 6】

該抗炎症剤がデキサメタゾンである、請求項 4 5 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 4 7】

前記架橋したヒドロゲル材料と組み合わせて生物活性種をさらに含んで成る、請求項 4 0 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 4 8】

該生物活性種が抗炎症剤を含んで成る、請求項 4 7 に記載の移植可能物品。

## 【請求項 4 9】

該抗炎症剤がデキサメタゾンである、請求項 4 8 に記載の移植可能物品。